

川上村認知症対応型通所介護施設

建設基本計画

川上村

令和8年3月

1. 施設の基本方針

- ・認知症の方が安心して過ごせる環境の提供
- ・地域との連携、家族との協力体制の構築
- ・利用者の尊厳を守るケアの実現
- ・今後建設が考えられる施設との連携

2. 建築概要

- ・用途：認知症対応型通所介護施設
- ・構造：鉄骨造及び木造（バリアフリー設計、耐震・耐火基準を満たす）
- ・階数：平屋
- ・延床面積：200 m²程度
- ・利用定員：12名

3. スケジュール

早期利用開始を目指すため、以下のスケジュールでの利用開始を目標とする。なお、社会情勢や村の財政状況により、変更することもある。

令和7年度	川上村高齢者等施設建設委員会による協議等
令和8年度	設計に関すること
令和9年	建設工事に関すること
令和10年1月	利用開始

4. 施設・設備

(1) 施設規模

○本郷宅老所だんらの介護度別利用者数の推移

(単位：延べ人数)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	909	684	458	467	649	464	465	661	678
要介護2	933	730	964	668	271	445	559	506	644
要介護3	401	464	463	554	431	371	127	44	110
要介護4	0	80	65	196	293	82	87	0	3
要介護5	0	0	63	0	18	32	17	0	0
合計	2,243	1,958	2,013	1,885	1,662	1,394	1,225	1,211	1,435

○要介護者及び高齢者の推移(見込)

(単位：人)

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R12	R17	R22	R27	R32
要支援1	26	22	20	21	27	26	25	26	27
要支援2	18	18	21	21	20	18	18	17	16
要介護1	24	22	22	21	22	21	21	20	21
要介護2	42	46	50	50	44	44	41	43	42
要介護3	33	34	31	31	33	33	33	30	33
要介護4	38	37	38	38	35	33	33	32	36
要介護5	20	21	19	20	20	20	20	16	19
計	201	200	201	202	201	195	191	184	194

(単位：人)

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R12	R17	R22	R27	R32
0～64歳人口(人)	2,251	2,155	2,089	2,060	1,915	1,755	1,576	1,416	1,267
比率(%)	64.4	62.4	61.2	61.1	60.1	59.1	57.4	56.8	55.9
65歳以上人口(人)	1,243	1,298	1,323	1,313	1,274	1,216	1,172	1,079	999
比率(%)	35.6	37.6	38.8	38.9	39.9	40.9	42.6	43.2	44.1
人口(人)	3,494	3,453	3,412	3,373	3,189	2,971	2,748	2,495	2,266

資料：川上村高齢者福祉計画第9期介護保険事業計画(令和6年3月策定)

(2) 主な想定施設

施設	備考	室数 (広さ/m ²)
玄関	<ul style="list-style-type: none"> 屋根付きの車寄せを設ける。 自動ドアでなく、引き戸とする。 	8～10 m ² 程度
共用スペース(食事スペース含む)	<ul style="list-style-type: none"> アコーディオンカーテン等で仕切れるようにする。 洗面台を設置する。 畳スペースを設ける。 利用者のロッカーを設ける。 	65～70 m ² 程度
キッチン	<ul style="list-style-type: none"> 共有スペース内に、対面キッチンを設ける。 周辺にキッチン用の収納スペースを設ける。 勝手口を設ける。 利用者で使用することを想定する。 	10～15 m ² 程度
利用者休憩室	<ul style="list-style-type: none"> 騒音を遮断する機能を持たせる。 使用していないときは相談室としての機能を持たせる。 	6～10 m ² 程度：3室
浴室(脱衣所)	<ul style="list-style-type: none"> 一般浴槽の設置。介護可能なスペースを確保する。 脱衣所は、広いスペースを確保し、洗濯機置き場、手洗い場、収納スペースを設ける。 	10～15 m ² 程度
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 十分な介護可能なスペースを確保する。 2か所のうち1か所は車椅子の利用を想定する。 	4 m ² 程度： 2ヶ所

事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の様子を常に確認できる位置に設ける。 ・スペース内に休憩所と着替場を設ける。 	6～8 m ² 程度：2室
収納室	<ul style="list-style-type: none"> ・収納室は1室設け、各部屋に収納スペースを設ける。 	5 m ² 程度
庭・屋外スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸活動ができる畑を設ける。 	
外構	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い場を設ける。 ・来訪者と交流する場を検討する。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・物干し場を設ける。 ・利用者が作成したものを展示できる場所を設ける。 	

(3) 施設・設備の特色

① バリアフリー・安全対策

- ・車椅子利用者に配慮したバリアフリー設計
(段差のない床、滑りにくい素材及び廊下、トイレ、浴室に手すり設置)
- ・利用者の安全性に配慮した動線設計
- ・視界を妨げない、各場所から共有スペースを幅広く見渡せる設計
- ・緊急呼び出しボタンの設置

② 設備・ICT 導入

- ・空調、換気設備（感染症対策）
- ・音響
- ・照明（利用者に配慮した設計）
- ・各部屋の分かりやすい表示
- ・インターネット環境の整備

③ 環境・地域との調和

- ・自然光を取り入れ、見通しの良いレイアウト
- ・地域住民との交流スペース
- ・省エネルギーの利活用（LEDライトの使用）
- ・再生可能エネルギーの導入（太陽光発電システム設置による電力の自家消費）
- ・内装などに村産木材及び県産木材の利用

④ 法令・基準への適合

- ・建築基準法、消防法、バリアフリー法
- ・介護保険法に基づく施設基準

(4) 受入想定

- ・軽度～中等度の認知症を有し、日常生活に支援を要する者